

留萌市立病院の研修医からのコメント



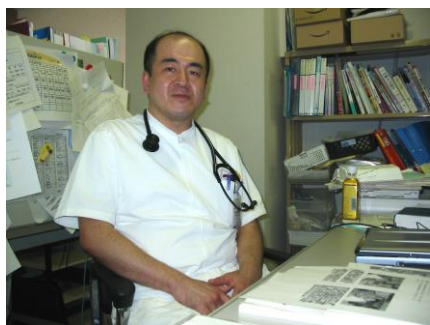
白井 丙午郎医師（後期研修医）

留萌市立病院は、地域の最前線病院で、医療圏5万人を抱える唯一の中核病院です。故に医療圏内の全ての症例が集まるため、症例数と種類は大変豊富になります。

急性期の入院治療、ER型救急、在宅訪問診療、地域医療連携（オープンベッドも含む）、コホート研究等々、家庭医・総合医を目指す方が非常に勉強になる場だと思います。さらに、スキルアップのための定期的なカンファレンス、教育回診、院外での研修、そして、何よりも院内の雰囲気が非常にアットホームで風通しが良く、他科のDr.との垣根が低いのが特徴です。

譚 策医師（後期研修医）

留萌市立病院での後期研修を選択した理由はたくさんありますが、特に留萌市立病院は地域唯一の中核病院として、救急医療、急性期入院治療、在宅医療、健康診断、人間ドックなどの地域医療を担っているため、症例数は豊富であり、各分野の専門の先生に指導をいただきながら診療を行い、一般内科の幅広い知識と技術を学ぶことができます。



加藤 剛医師（初期研修医）

留萌市立病院は、留萌管内の広域より患者様が来院されるため、多種多様な症例を経験することができ、大変勉強になっています。一方で、医局が同一フロアにあり、科ごとの壁はなく、自由に相談することができるオープンな雰囲気があります。

さらに、院長先生をはじめ、上級医の先生方はみな研修環境に配慮して下さるので、のびのびと研修生活をおくるにはおすすめの病院だと思います。

杉山 達俊医師（初期研修医）

留萌市立病院は、大病院ではなかなか自分に回ってこない手技も早い段階からでき、結果として、症例数や手技はかなり多く経験できます。全国的にみて今はまだ無名に近い病院ですが、多くの経験を積める所として、一度人気の流れができれば、今後、多いに盛り上がっていきたくて考えています。やる気があり、経験をたくさん積みたい方は、ぜひ研修先として考えてみてください。留萌市立病院を一緒に盛り上げましょう。



野上 和剛医師（初期研修医）

留萌は、「都市から遠くない僻地」として、日常生活に不自由せずに地域医療に取り組む事が出来る立地条件です。

自然環境も大変素晴らしく、高台から見下ろす夕日や世界三大波濤にも認定される冬の沿岸は饒舌し難いものであり、海産・農産物共に自慢できるものです。熱い思いをもった院長先生に初期・後期研修医が引き寄せられ、若手同士が科の垣根を越えて、切磋琢磨する留萌での研修はいかがでしょうか。